

演劇やプロジェクト型学習、海外研修を通じた 未来を創造する力の育成

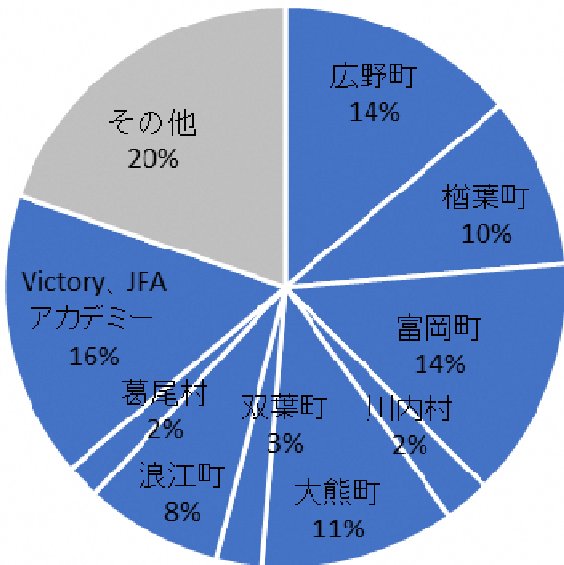


福島県立ふたば未来学園高等学校

1 開校の経緯・ 背景

1 開校まで 地域と生徒の状況

○ 生徒の出身地（H27入学生152名）



Victory及びJFAアカデミーは、震災前より「双葉地区教育構想」に基づき、富岡高校を中心として実施されていた、バドミントン及びサッカーの人材育成の取り組み

- ✓ 80%の生徒が双葉郡出身
- ✓ 原子力災害による避難で県内外に離散。
- ✓ 大きな喪失経験の中、転校を繰り返す中で、力を発揮できずにいたり、心のケアが必要な状況。家庭環境の変化も含め**厳しい状態**にある
- ✓ 一方で、ふるさとの地で、友と共に再出発し、見通しの見えない**地域復興を担おうとする意欲**をもつ生徒が多い。

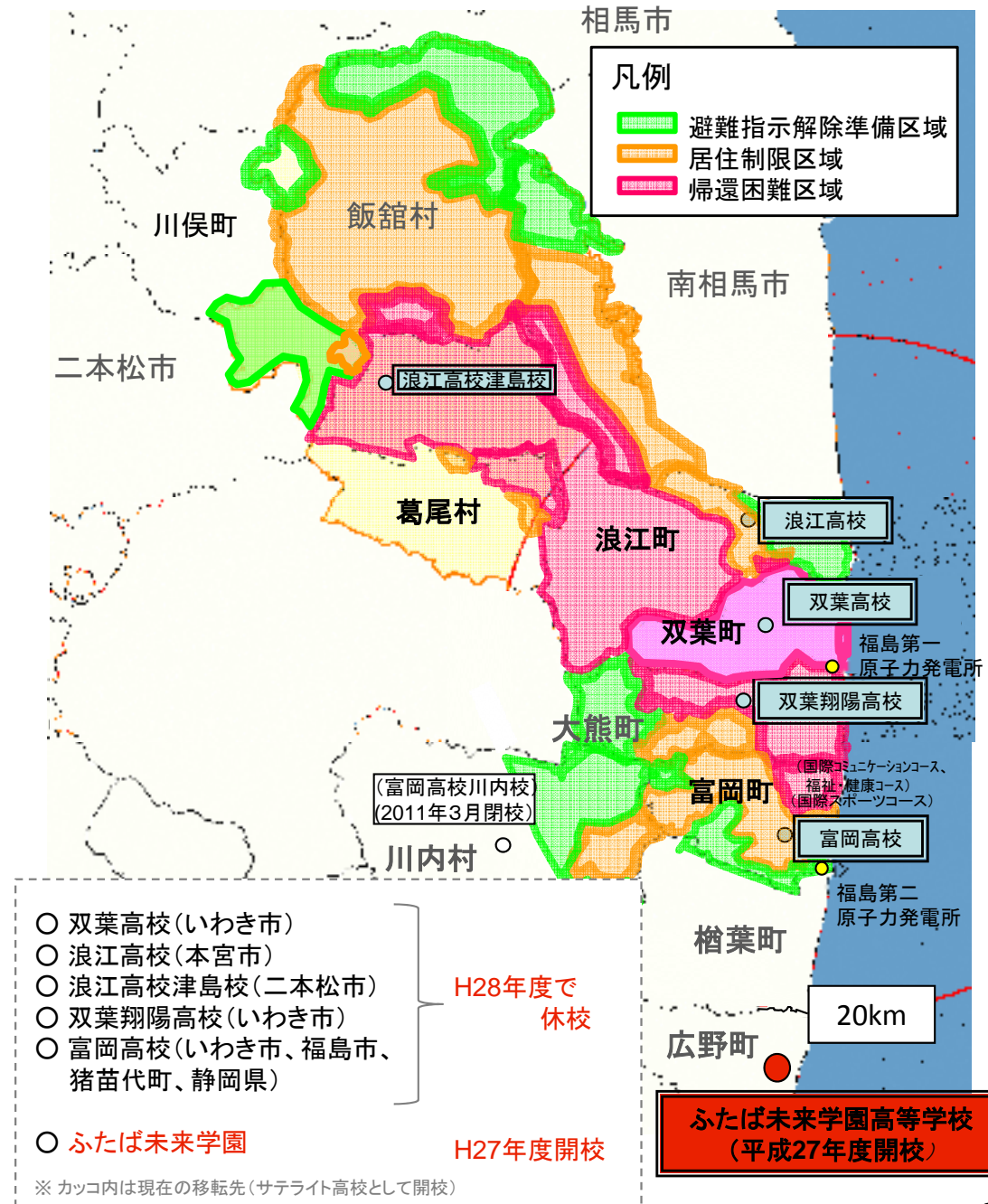
○ 生徒の避難の状況

生徒名	原発事故から入学までの移転
T. A 君★	いわき市
K. E 君	榎葉町→会津美里町
Y. K 君	広野町→いわき市→新潟県 →いわき市→広野町
R. K 君	榎葉町→埼玉県→いわき市
Y. S 君	富岡町→茨城県
K. S 君	広野町→いわき市→広野町
T. N 君	広野町→静岡県→いわき市 →広野町
R. N 君	浪江町→新潟県→二本松市 →いわき市
A. M 君	双葉町→山形県→棚倉町 →いわき市

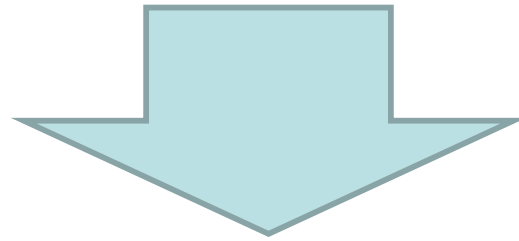
生徒名	原発事故から入学までの移転
K. M 君	広野町→埼玉県→いわき市 →広野町
T. Y 君★	白河市
T. Y 君	富岡町→千葉県→いわき市
K. I さん	榎葉町→いわき市→東京都 →いわき市
H. I さん	浪江町→相馬市
T. T さん	榎葉町→いわき市
K. F さん	榎葉町→宮城県→いわき市
M. M さん	葛尾村→本宮市→三春町 →郡山市

一例として野球部の生徒17名の避難状況を記載。
★は双葉郡以外の出身生徒

○ 双葉郡内の高校の状況

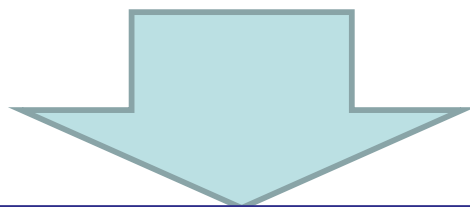


震災と原発事故



福島は、将来の日本が抱える解決困難な課題に直面

将来全国の地域が直面
する課題が震災と原発事
故により加速化、顕在化

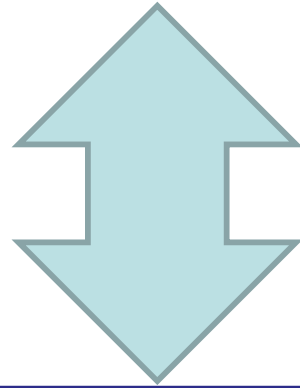


双葉郡、福島県は
「課題先進地域」に

長期化する避難生活、放射能との戦い、コミュニティの崩壊、分断と対立、偏見や風評

原発事故特有の課題

地域の課題



グローバルな課題
（「持続可能な開発のための目標（SDGs）」）

子どもたちの状況

原子力災害による避難で県内外に離散。



心のケアが必要

子どもたちの状況

一方で、ふるさと
を取り戻そうとす
る意欲、高い志

2 ふたば未来学 園の目指すもの

教育目標等

これまでの価値観
を根本から見直し



新しい生き方、社
会の建設を目指す

理想とする未来を
創造する力を育む



これからの学校と
社会の共通目標

教育目標

自らと、地域、
社会を変革する
「変革者たれ」

校訓（変革のための理念）

■ 自立

自ら動き、自分の頭で考えぬく

■ 協働

多様な主体と共に力を合わせる

■ 創造

新しい生き方、社会をつくる

21世紀に求められる力

知識

スキル

人格

メタ認知

社會的課題

知 識

英語活用

思考・創造力

表現・
発信力

スキル

他者との
協働力

マネージメント力

前向き・責任感
・チャレンジ

人 格

寛容さ

能動的
市民性

自らを振り返る力

メタ認知

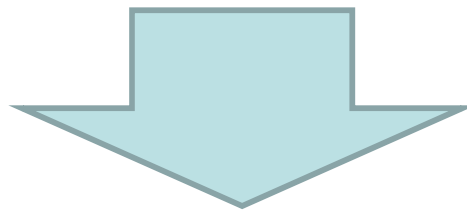
自らを変える力

3 教育内容

カリキュラム

原子力災害からの復興
を果たすグローバル・
リーダーの育成

グローバルな視点から
地域課題解決の方法を
考察・提言



思考力や発信力等育成

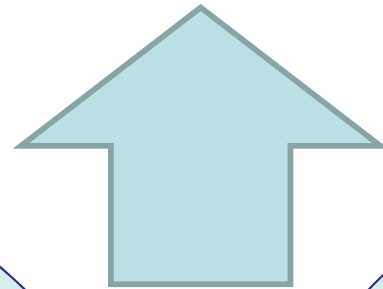
未来創造型教育

実社会におけるグローバルな
課題解決の実践を通じた学習

実社会におけるグローバルな 課題解決の実践を通じた学習

日本・地域の
良さと課題を
見つめる
学習

世界へ
視野を拓く
学習



ふるさと創造学

(双葉郡の小・中・高校で連携して実施)

(主体性)

(協働性)

(創造性)

(for) 未来のために

(with) ふたばとともに
地域の未来・自分の夢をつなぐ

(about) ふたばについて
地域を知る・伝える

(in) ふたばで
地域に浸る(自然・文化体験、食育)

大

高

中

小

幼保

ふるさとや
復興に関する
課題解決学習

4 生徒たちの学習

(1) 地域の復興の
課題をみつめる

1年次

- ◆ ふるさとを知る
- ◆ 課題を見つける

- 地域へ飛び出して、フィールドワーク
→ 地域の課題を対話劇で表現
- 地域を活性化する方策を考える。
→ 文化祭で発表

フィールドワークでは

みんなが善意で取り組んでいるのにうまくいかないことを探し出す。

町役場で、復興の課題を探る



津波浸水区域を歩く



農業再開の課題は？



東電



地域の課題を対話劇で表現

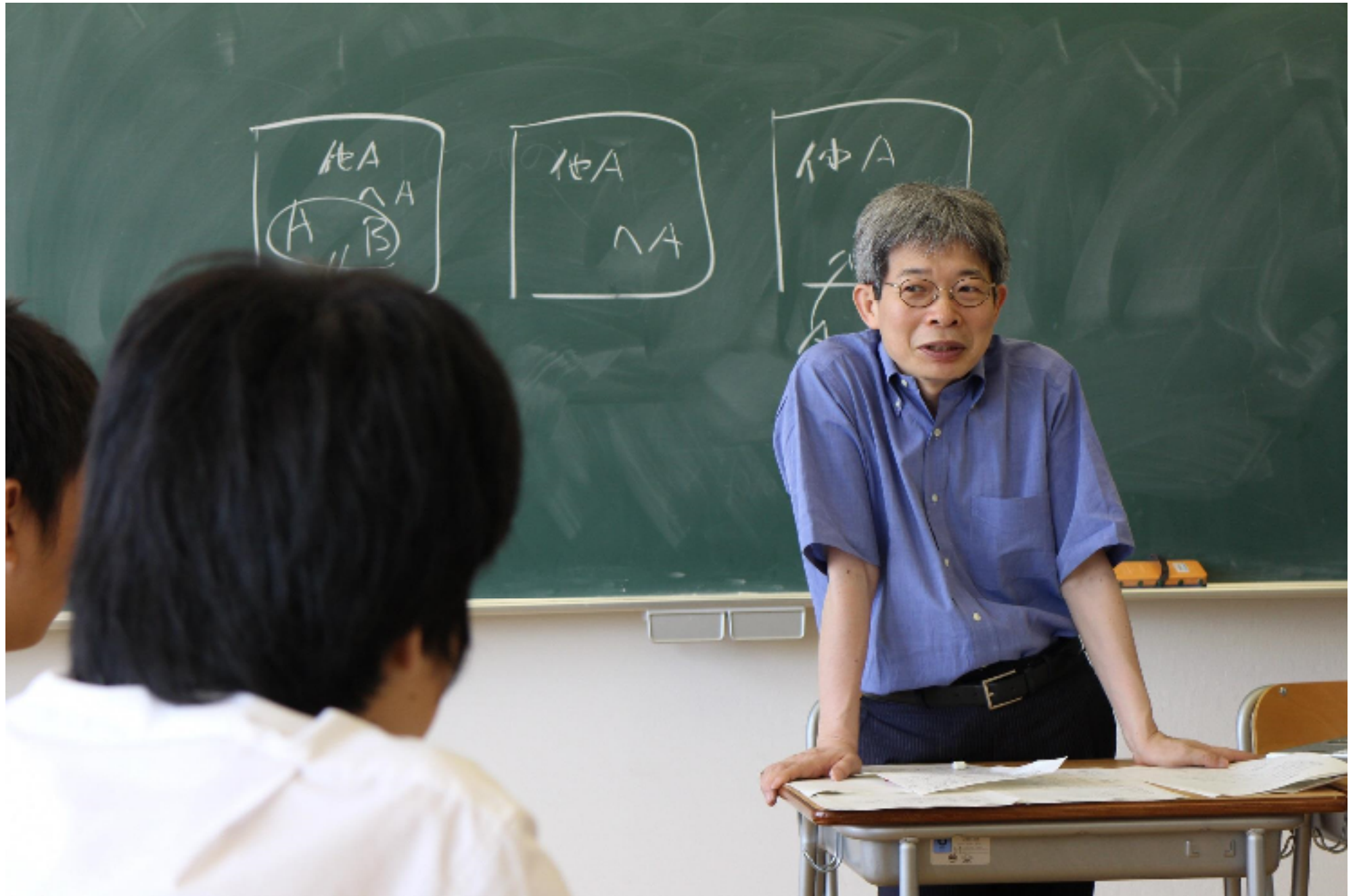
異なる価値観や意見を持った人々が、戸惑ったり理解し合ったりしながら対話を進めていく演劇

劇をつくる上でのルール

予定調和の劇にせず問題の複雑さを表現する

はっきりとした悪者は登場させない。

プロットづくり



脚本づくり



いよいよ上演



迫真の演技！



地域の方も



福島の子供たちに必要な力は



わかりあうためには

共有できる部分を見つけて
広げていくしかない

シンパシーからエンパシ
ーへ

4 生徒たちの学習

(2) 海外研修

地域から世界へ

ベラルーシ (1年次) ~被災地

ドイツ (1~2年) ~再工ネ、学校交流

タイ (1年) ~海外進出企業 等

アメリカ (2年) ~国際機関 等

ベラルーシ研修

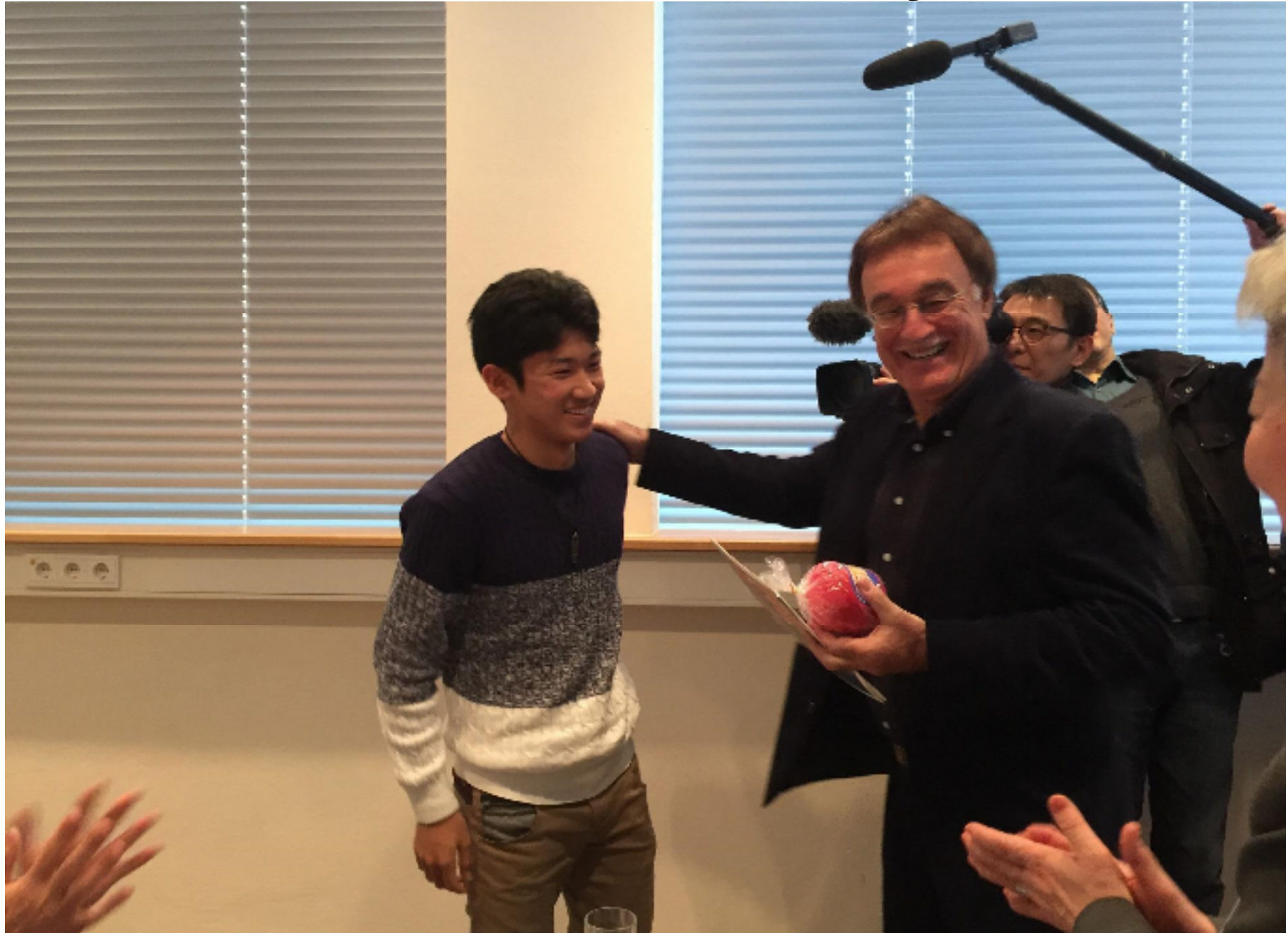




英語で対話劇発表



Germany



Germany





Germany



ニューヨーク研修



ニューヨーク研修



ニューヨーク研修



4 生徒たちの学習

(3) 地域復興の 探究と実践

(3) Project-Based Learning 「未来創造探究」で地域復興の探究と実践

1年次に見つめた地域課題を踏まえ、2・3年次の合計7単位で課題解決の探究と実践に取り組む。

1. 福島県及び企業・関係団体、大学・国際機関と連携し、グローバルな課題である「原子力災害からの復興」をテーマの中心に据え、その原因、背景、過程について探究しつつ、地域再生の実践を行う。
2. 国内外での研究成果発表や提言を行う(復興庁、環境省、自治体等)

原子力防災探究

原子力災害によって失われた地域コミュニティの再構築について研究する。

メディア・コミュニケーション探究

海外を含めた、異文化の方々に向けた情報発信やコミュニケーションの有効な方策を研究する。

再生可能エネルギー探究

福島の現状を踏まえた、望ましい人間社会と、地球環境やエネルギーの関係性について研究する。

アグリ・ビジネス探究

福島の復興につなげる、今後の農業とビジネスを研究する。

スポーツと健康探究

福島の地域を、スポーツを通じて豊かにする方策を研究する。

福祉と健康探究

福島の地域において、少子高齢化が加速する中での健康長寿の実現の方策を研究する。

原子力防災探究班

世界的なブランド確立

外部に興味を持たれる地域化

社会福祉の充実とルール整備

インフラ整備と住民のつながり

経済基盤復活

「知る」

ことがなければ
問題は解決しない
のではないか！？

いかにして

**「知る機会をつ
くるか」**





高校生主催！
ファーマーズマーケット

福島県広野町発！

FMふたばプロジェクト



商品開発



ファーマーズマーケット 開催





安全

客観的な要因



壁

安心

主観的な要因

?

安全

客観的な要因



壁

安心

主観的な要因

ブランド

〇〇さんの野菜とい
うブランド



「対話（交流）する
こと」でつくる

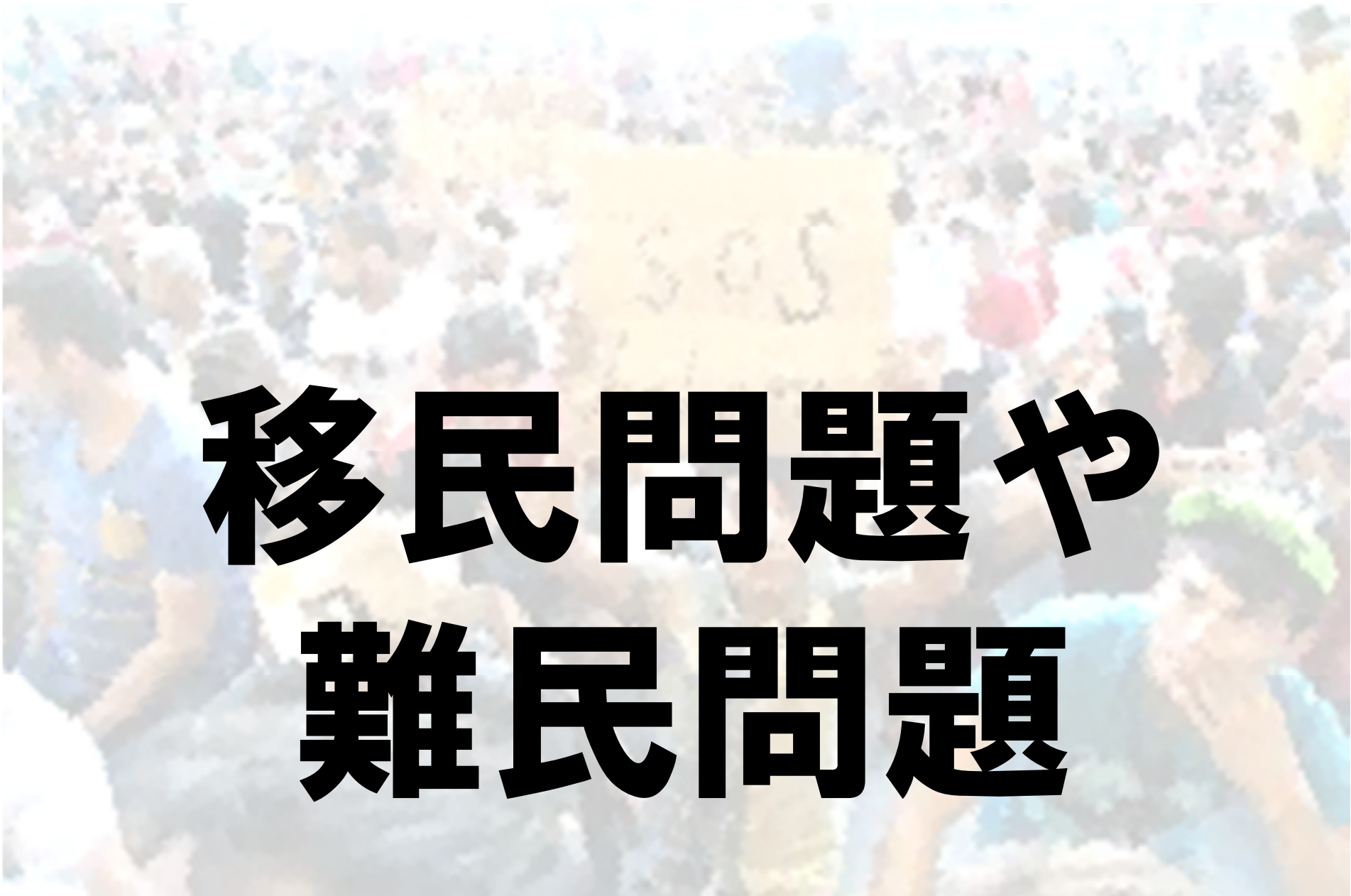
「知らない」

「知ろうとしない」

「知る機会がない」

が原因で起こっている

問題ってあと何？

A large crowd of people is gathered, holding a large yellow sign with the letters 'SOS' written on it. The background is slightly blurred, showing many people in various colors of clothing.

移民問題や 難民問題

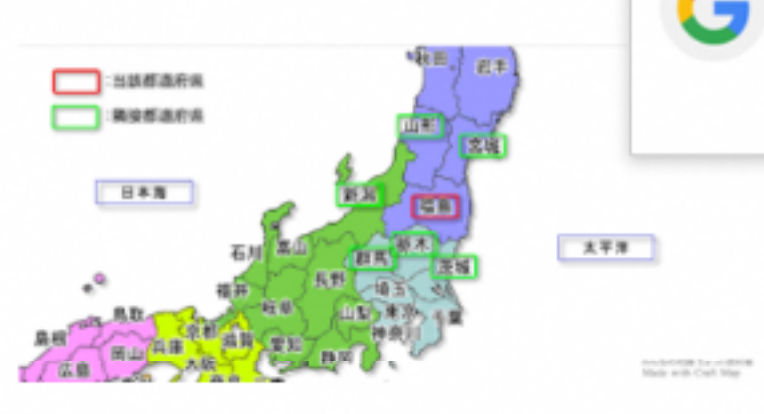
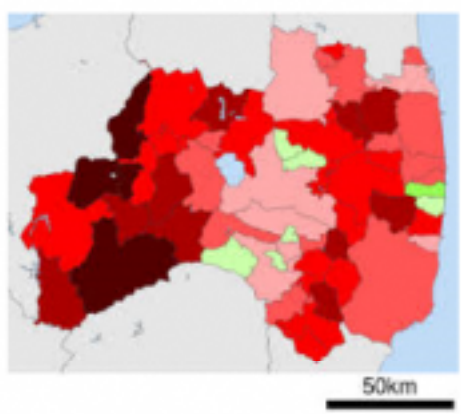
メディア・コミュニケーション — ション 探究班



福島

すべて 地図

「福島」で検索



オーストラリア



福島県



- 東北方面
- 関東方面
- 中部方面
- 北陸方面
- 中国方面
- 四国方面
- 九州方面

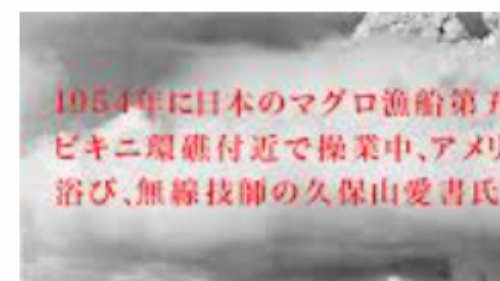


「フクシマ」で検索

フクシマ - Google 検索



原発事故がクローズアップ



情報をどう伝えるか



福島県相双地区の旅



再生可能エネルギー 探究班

(1) 新しい再エネ・省エネ関連 の新産業の創出

再び、双葉郡をエネルギー
の町として復興させたい!!!

(2) 再エネ推進でクリーンなイ
メージ 風評の払拭!

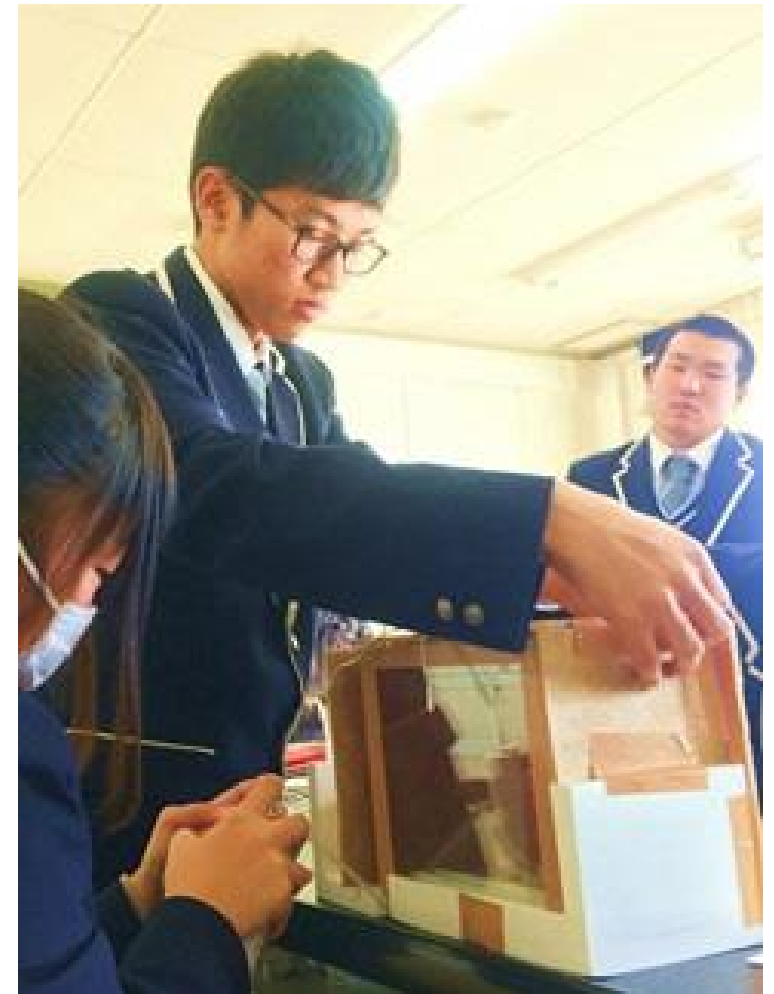
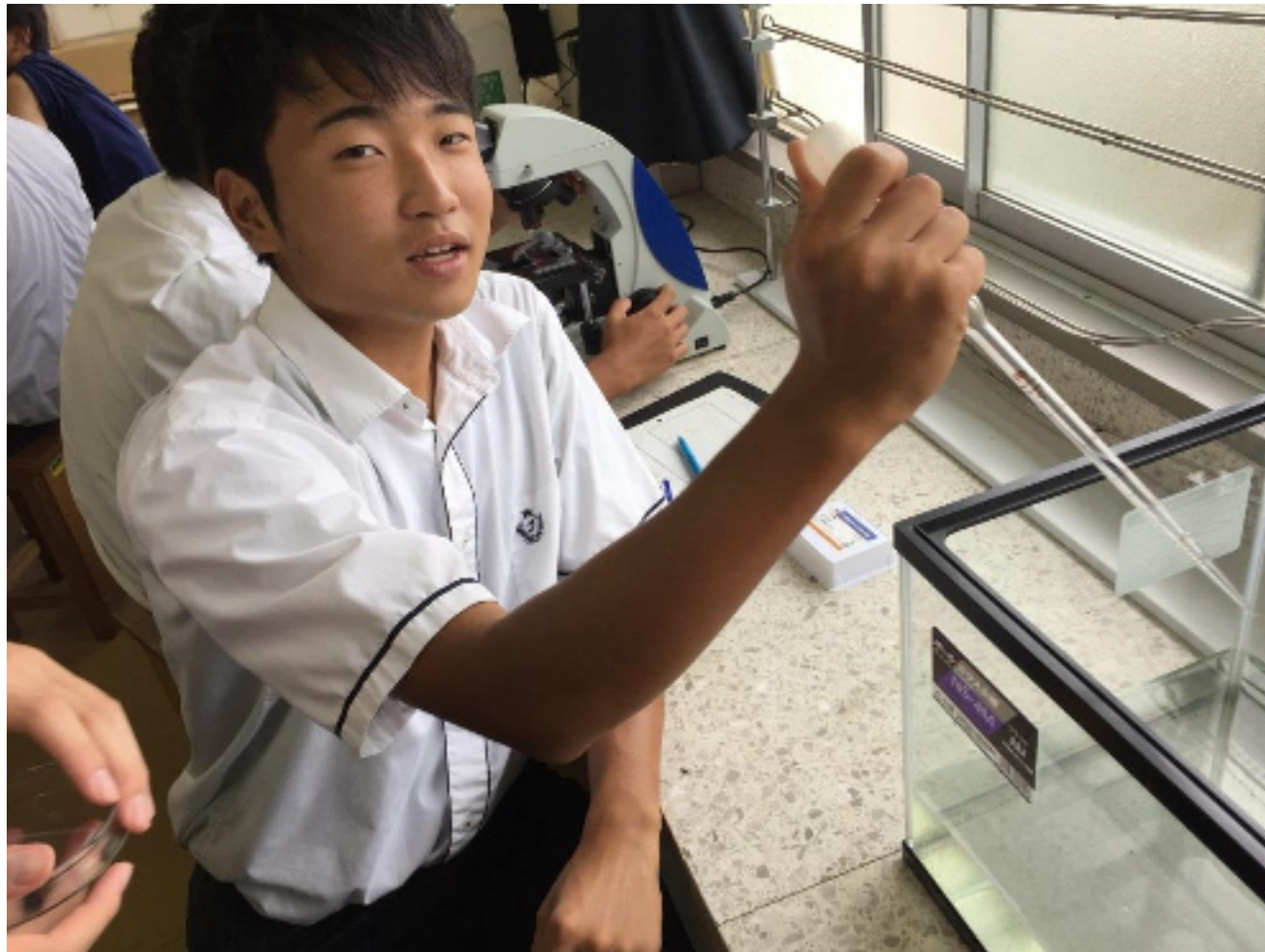
ヒロシマやナガサキのように

何か新しい方法
で電気を起こせ
るのではないか
？

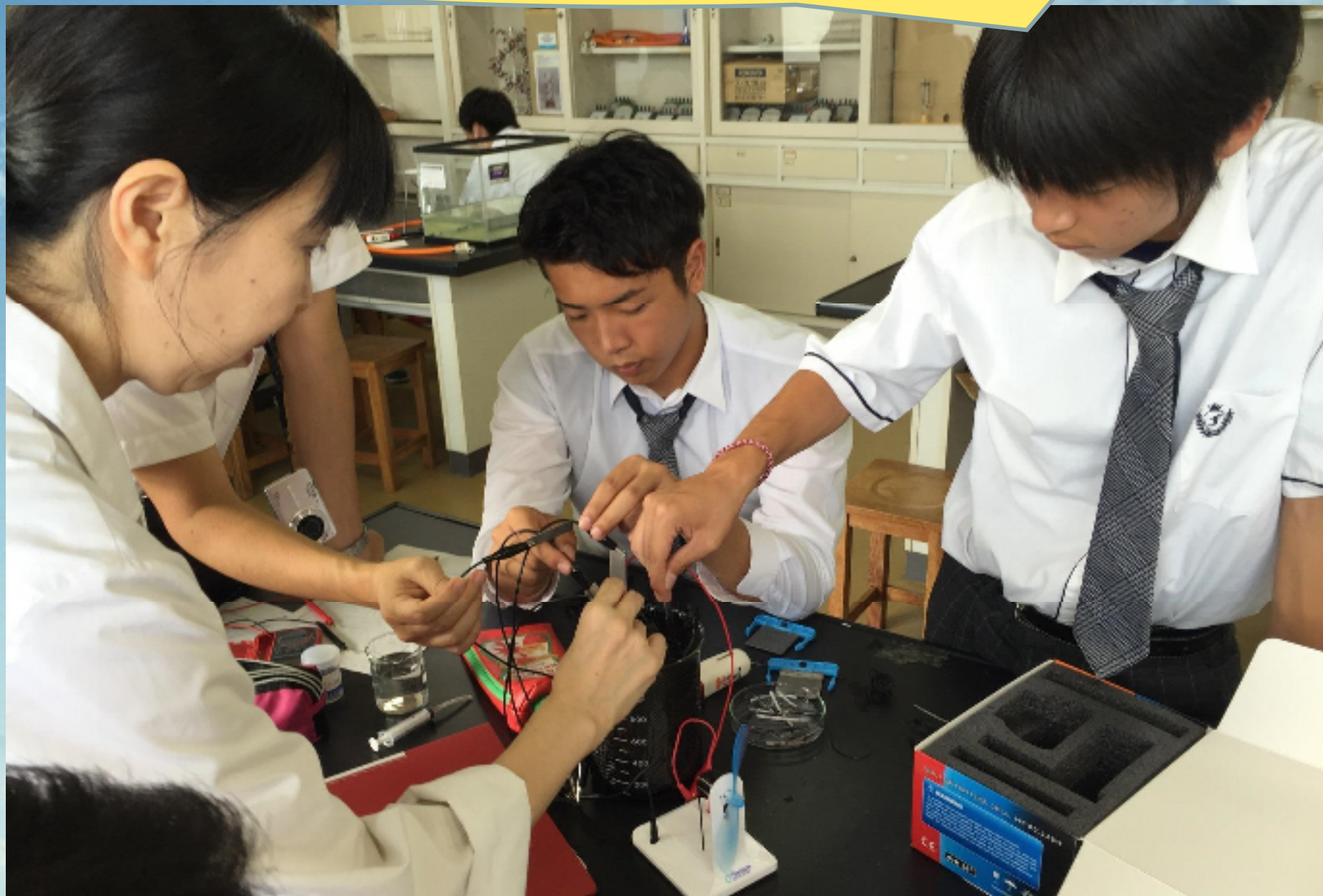
地元の資源を生
かす発電方法が
あるのではない
か？

省エネにより光熱
費がかからない
町を作れば地域
が活性化するの
ではないか？

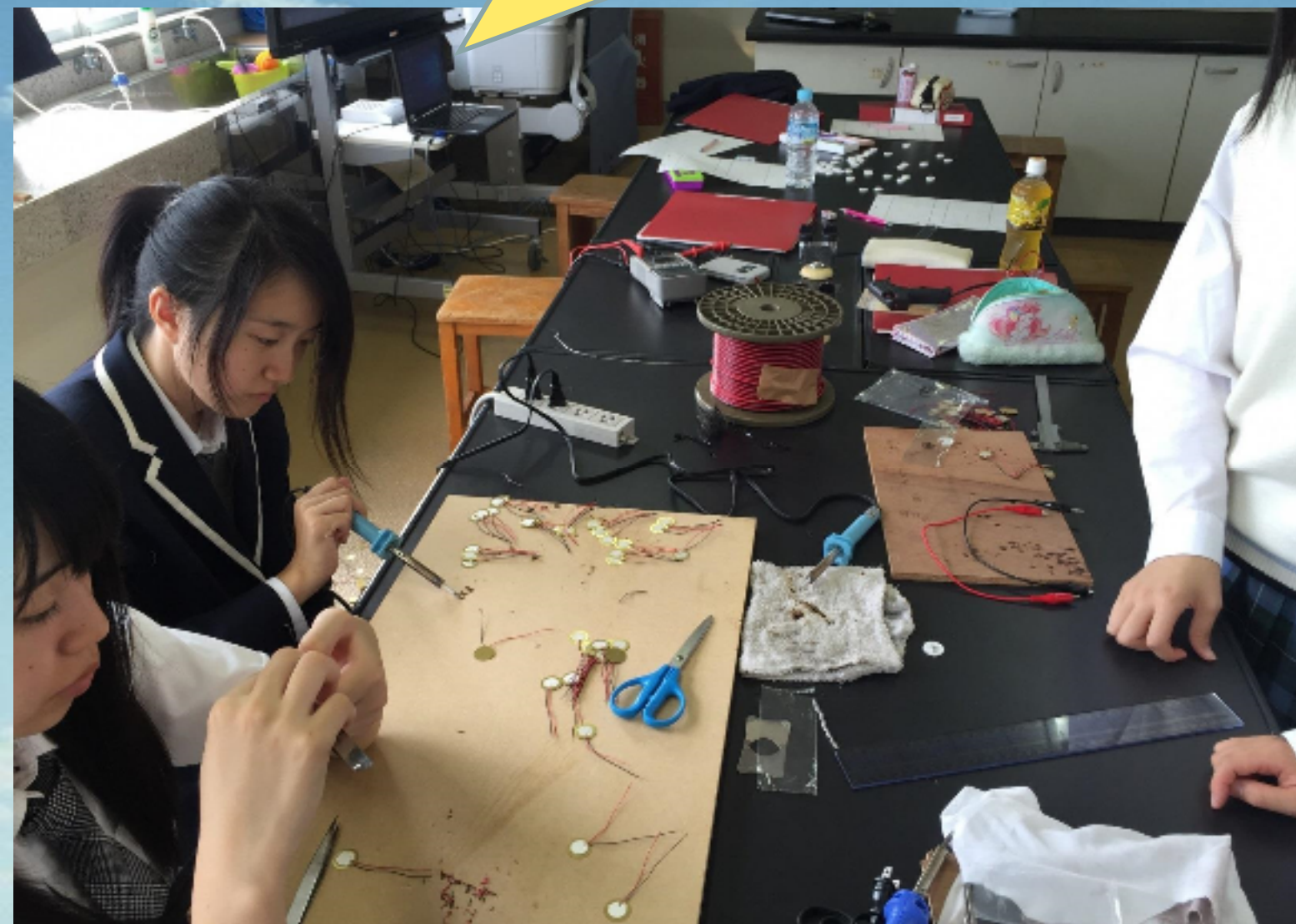
再生可能エネルギー 研究中！



海水で発電！

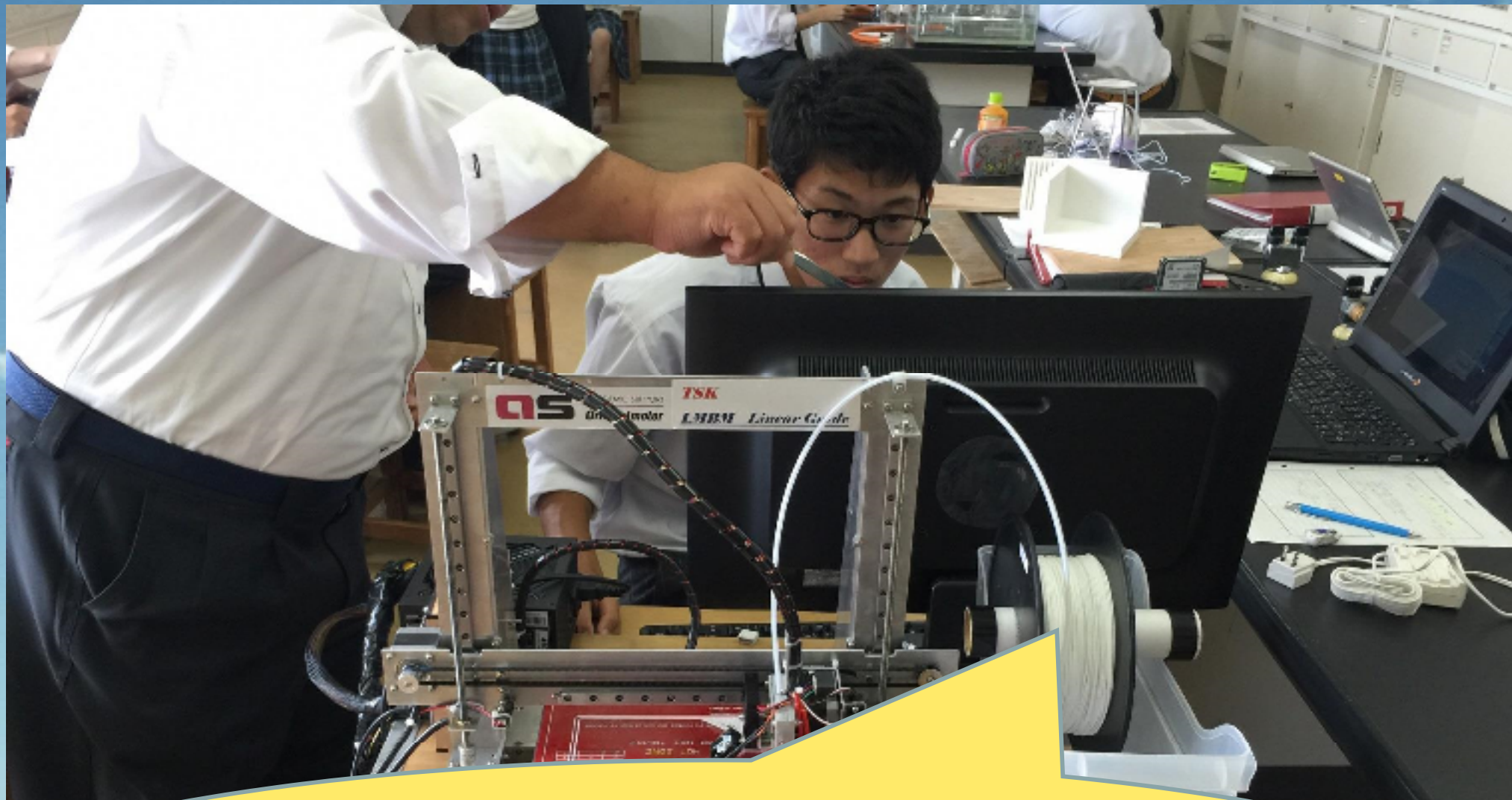


車の振動で発電！



藻からバイオ燃料
をつくる！






ドイツで見たような
環境に優しい家を



アグリ・ビジネス 探究班

「農」と「食」をとおし
て、地域を明るく元
気にして、地域と共
生する活動を行う。

8町村それぞれの特産
品や歴史、伝統、文化
を生かしたプロジェクト
が進んでいます！



川内村の
いわなの里で
イベントできないかな













名物イワナおいぎりの日

川内でメニュー開発



おいぎりの日、川内町でメニュー開発に取り組む参加者

この日は、他に、Kimiyaのレタス、卵、オイルなどに「おぎりの日」のメニューを開発した。

試食会では、村長や秋元正三、長、渡辺一夫村長も加わり、おぎりの日について、世代を超えて交流を深めた。

【秋元正三・ふるさと】川内町のいわたの郷の名物イワナを使った、おぎりの日メニューを開発した。試食会では、おぎりの日メニューを開発した。


村婦人会と村社会教習所が中心。おぎりの日メニューを開発した。

【ふるさと】川内町で、おぎりの日メニューを開発した。約100人が参加した。村社会教習所を、務める加藤正行川内小校長、木村悠子村国民健康保険診療所長、

広野町のふたば未来センターの高の生徒も加わった。

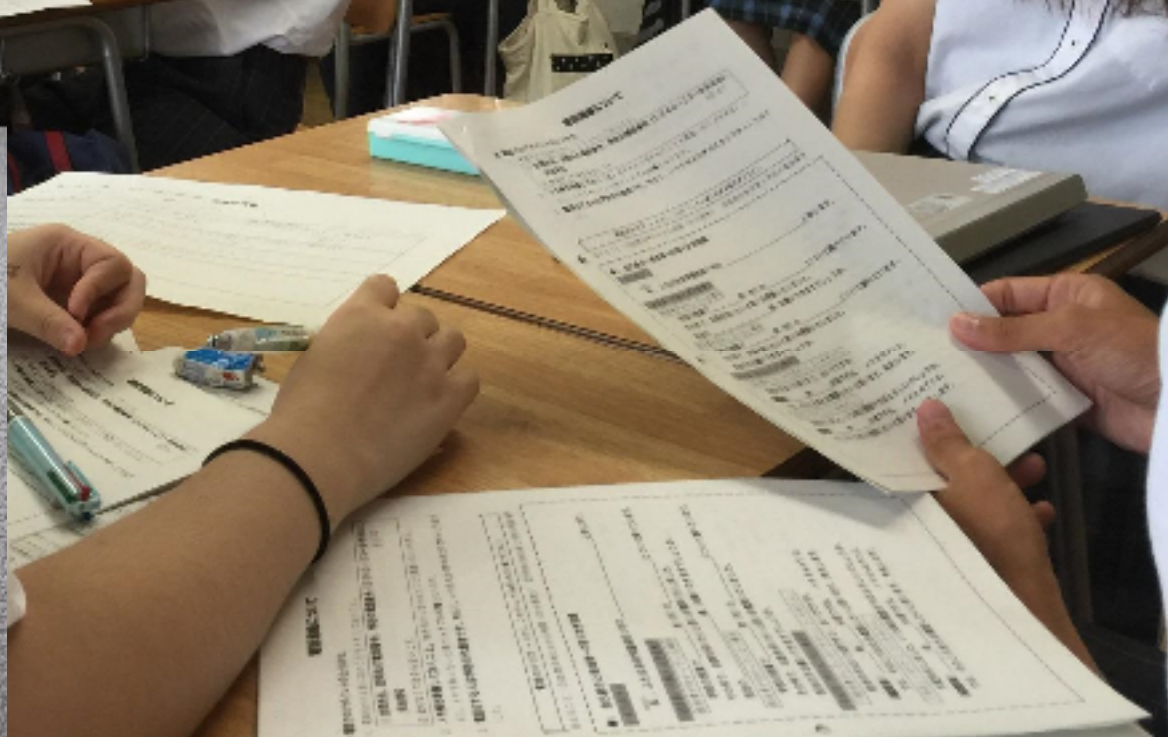


福島県立
ふたば未来学園高等学校

ご当地! 絶品 | がんばれ
高校生! /
うまいもん
甲子園 



ふるさと葛尾村の
しみもちで
スイーツ！



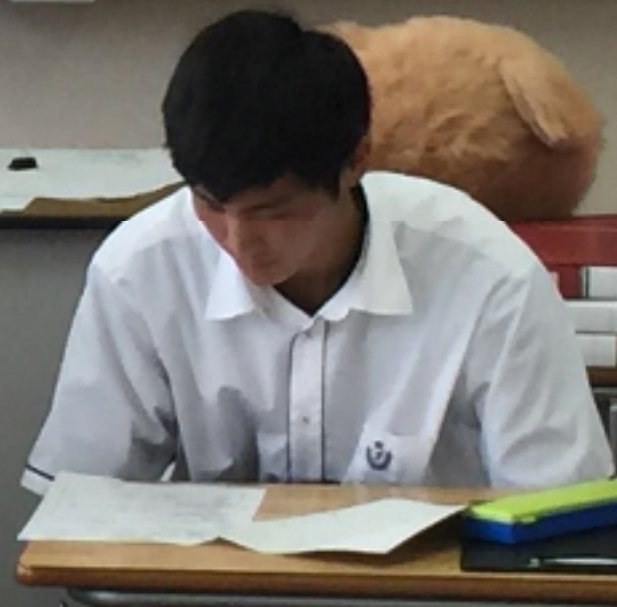
「凍みもちを使ったデザート開発」



凍みもち X
コラボ!!!!



富岡の味
噌まんじゅ
うの復活を



富岡町の銘菓を復活させ地元イベントで配布







ふたば未来学園の
手づくり製品です

からあげ
150円

5個入りです
激安

パン粉の原料に当たる
アレルゲン成分について
Dress-1
Dress-2
Dress-3
Dress-4

お茶
100円

バーガー 250円
バーガー 250円
バーガー 200円



てりやき
バーガー 250円
特大エビフライ
タルタルソース
ロング
ホットドッグ
250円
150円



会計

注文

【からあげ】
一部に小麦・鶏肉・卵・乳成分
【お茶】
一部に小麦・えび・卵・乳成分
【からあげ】
一部に小麦・鶏肉・卵・乳成分

メニュー
からあげ 150円
お茶 100円
バーガー 250円
エビフライ 250円

SHOP

仮設住宅で、大熊
のお菓子を食べな
がら交流会を





再生可能エネルギー発電
によるアリーナを！



超少子高齢化の中で
支え合いの社会を作る！

⇒株

コミュニティ
の再編

X

新しい生活への
不応

X

校家族化

孤独死



3年次

論文にまとめ、発信

地域再生

国内外で研究成果を發表

復興庁、環境省などへ
提言

第4回 国際フォーラム「被災地からのメッセージ」
～食べて、歌って、話し合う、ひろのいみち会議～
International Forum "Message from Disaster Affected Areas"



地方創生アイディアコンテスト 二年連続入賞



探究～最終的には

仮説、検証、考察という枠組

問いをしっかりと立てた

課題を掘り下げ本質ま
でつきつめて考察した

実践から教訓を得て次へ

グローバルな課題につなげた

多様な主体と協働

目指す未来の姿を考察

自己の生き方・進路につなげた

5 學習支援

NPOカタリバとの連携

福島から世界で活躍する、未来創造型の人材育成に向けて

NPOカタリバの福島コラボ・スクール（みらいラボ）設置

◎ 地域課題解決学習の支援・協働

「原子力災害からの復興」という大テーマのもと、各班に分かれて進める地域課題解決学習の授業支援・協働。

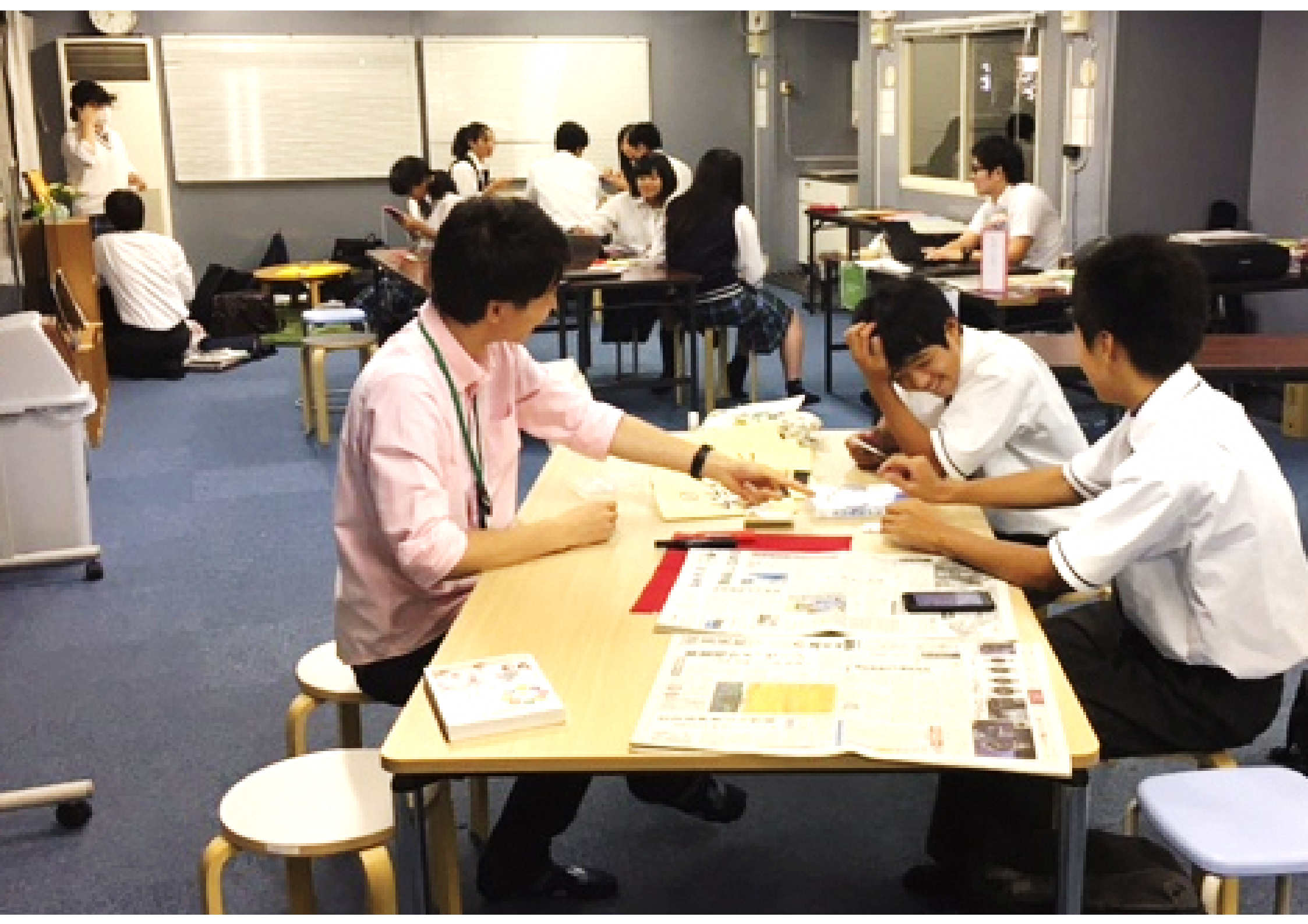
◎ 放課後学習支援

避難生活で学習に遅れが出た生徒の学び直しや、目標とする進路実現に向けた、個々の生徒に応じた放課後学習支援。

◎ 対話によるキャリア学習支援

日々の悩みや進路のこと、震災の経験などを安心して相談できる環境の整備。意欲的に学ぶ学生や社会人との出会いづくり。









特色ある教育活動

◎ 生徒全員にタブレットパソコン





6 成果

社会的課題に
関する知識

寛容さ

伸びた力

他者との
協働力

探究、海外研修等
での英語活用力

○ 困難を乗り越え夢
に向かって自立

○ 企業、NPO、行
政、研究機関など多
様な主体との協働

○故郷をとり戻し新しく創ろうという意志

○困難な状況にあるからこそ可能なことを構想する創造性

進学 8割

県立医大医学科、東北

筑波、福島、茨城、弘前

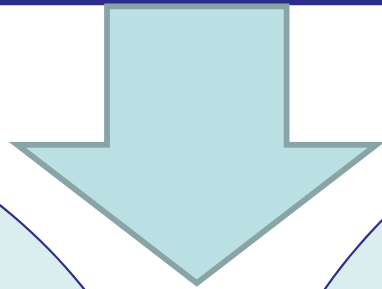
明治、青山学院、立教

中央、法政、津田塾 他

就職 2割

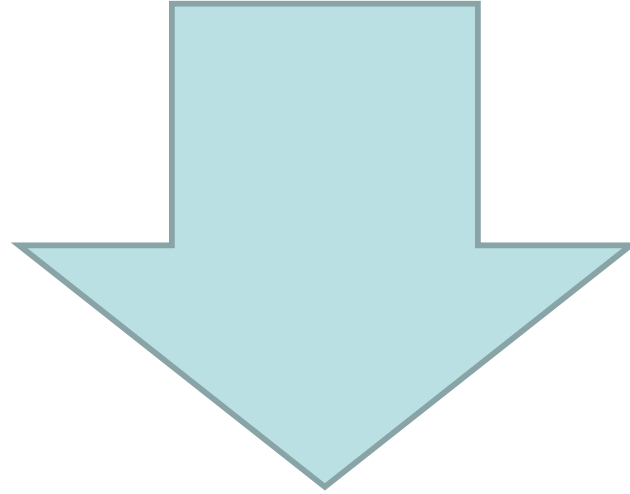
7 今後に向けて

さらに学びを深め、
変革に結びつけるために



課題を掘り下げ、
本質に迫る力を育む。

対立を乗り越え
共存を図る
市民性やコミュニ
ケーション力を
育む。



「探究」による深い学び

探究

現実社会の課題解決

*

↑
いかす

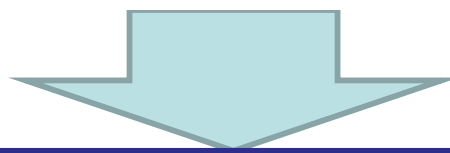
↓
深める

教科

知識・技能

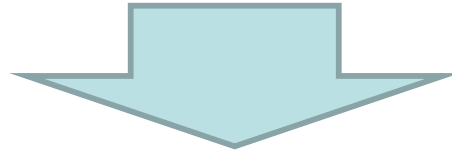
思考力等

学びに向かう力



演劇などによる シティズンシップ教育

多様な利害や価値観の対立を乗り越え、共存を図る力
＝「シティズンシップ（市民性）」を育成し、能動的な市民（アクティブシティズン）を育てる。



- ・演劇などによるコミュニケーション教育
- ・政治的争点に関する学習
- ・多様な価値観や文化理解、対立を乗り越えるスキル学習
- ・哲学、熟議

対話



世界での居場所を見つけ、自己と他者の存在を認めることができる。

協働



過去から未来へ向かう足場を固め、人生を支える根っこを張りめぐらす。

困難を乗り越え
新しい一歩



変わろうとしている
生徒の姿こそ希望